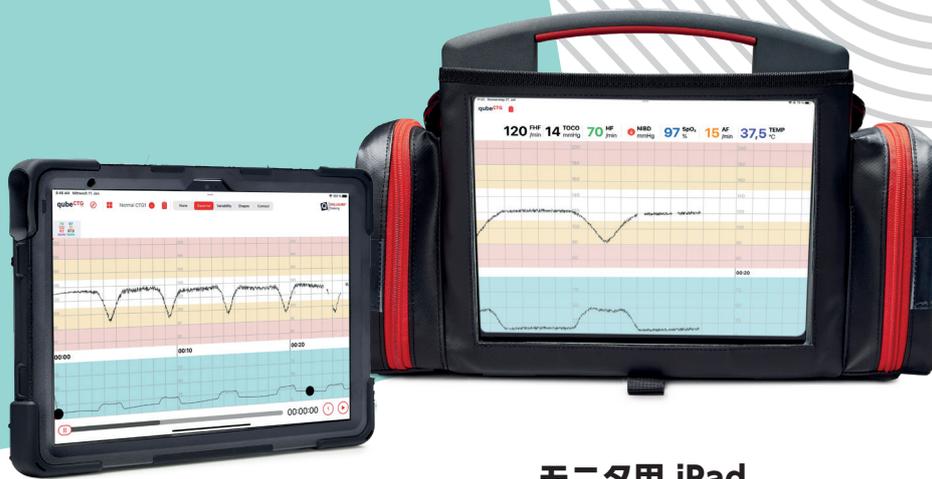


SKILLOUBE

Quick Start Guide
qubeCTG



NLS
日本ライトサービス株式会社
Nihon Light Service, Inc.



モニター用 iPad

コントローラ(指導者)用 iPad

1 iPadの基本設定とシャットダウン

Bluetooth® の設定

1. 「設定」  を開きます。
2. 「Bluetooth」 に移動します。
3. 「Bluetooth」 がオンになっていることを確認してください。



WiFiの設定の調整

1. 「設定」  を開きます。
2. 「WiFi」 に移動します。
3. WiFiが有効な場合、「i」をタップします。
4. 開いたウィンドウで、iPadが自動的に接続しないように「自動接続」を無効にします。



iPadの電源をオフにする方法

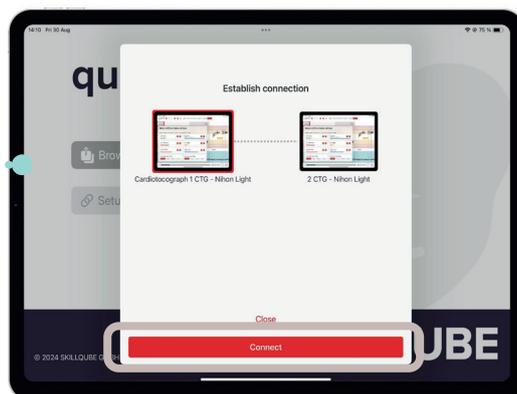
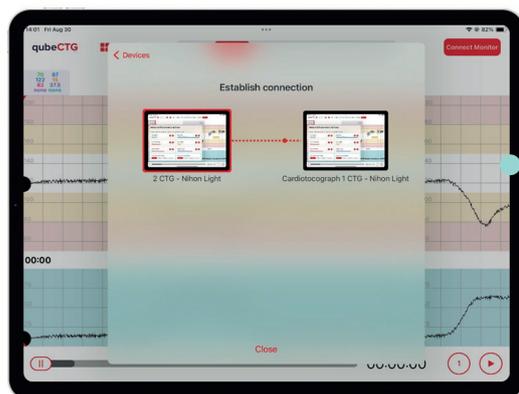
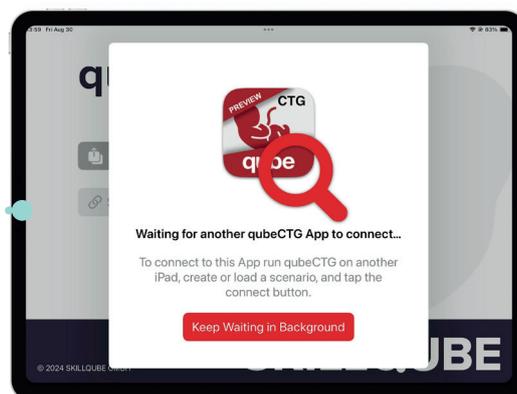
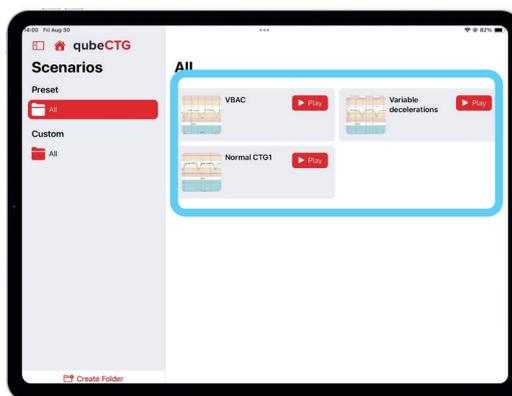
1. 「設定」  を開きます。
2. 「一般」 に選択します。
3. 画面を下にスクロールし、「シャットダウン」を押します。スライダーを右に動かすと、デバイスが自動的にオフになります。

※新しいiPadモデルでは、本体の「電源オフ」ボタンを長押ししても、電源を切ることができなくなりました。iOSのバージョンにより、コントロールセンターに電源アイコンが表示されるようになっています。アイコンのロングタップでシャットダウン操作が可能です。

2 デバイスの接続

まず、すべてのデバイスが同じWiFiネットワークに接続されていることを確認してください。その後コントローラとモニタ用iPadで **qubeCTG** アプリを開きます。

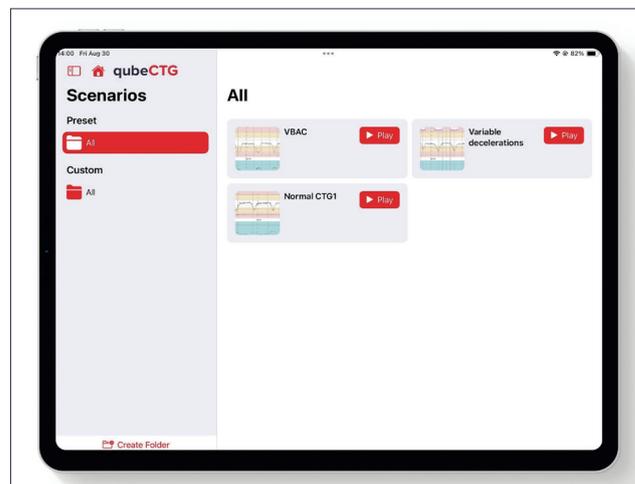
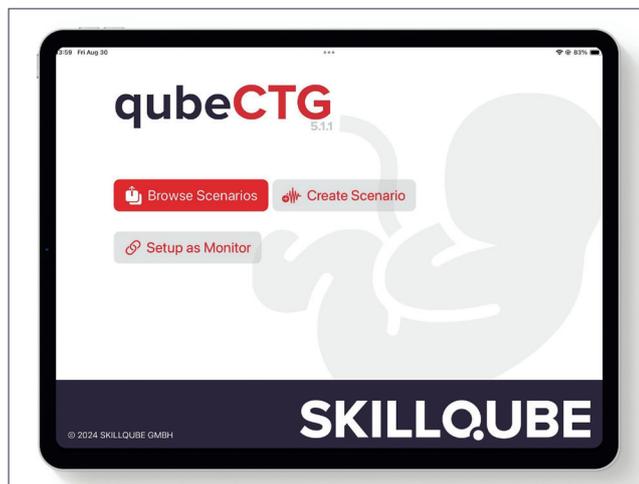
1. コントローラ用iPadで「Browse Scenarios;シナリオを見る」にタップします。モニタ用iPadでは「Setup as Monitor;モニタとして設定」をタップします。
2. シナリオメニューのプリセット/カスタムから任意のシナリオを選択します。
3. (モニタ用iPadはバックグラウンド待機状態のまま) コントローラ用iPad画面の右上で赤く点滅する「Connect Monitor;モニタへ接続」ボタンをタップします。
4. モニタ用iPadで接続の確認が求められます。「Connect;接続」をタップし接続を完了させます。



3 シナリオの選択と削除

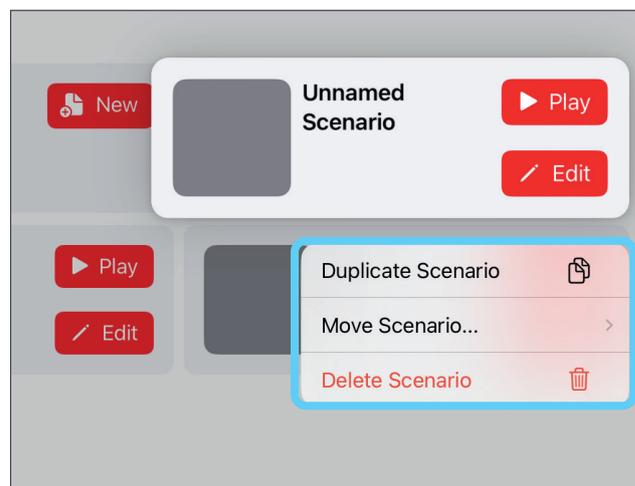
シナリオの選択

1. 「Browse Scenarios (シナリオを見る)」は、プリセットシナリオを選択できます。
2. 「Create Scinalio (シナリオを作成する)」は、独自のシナリオを作成できます。



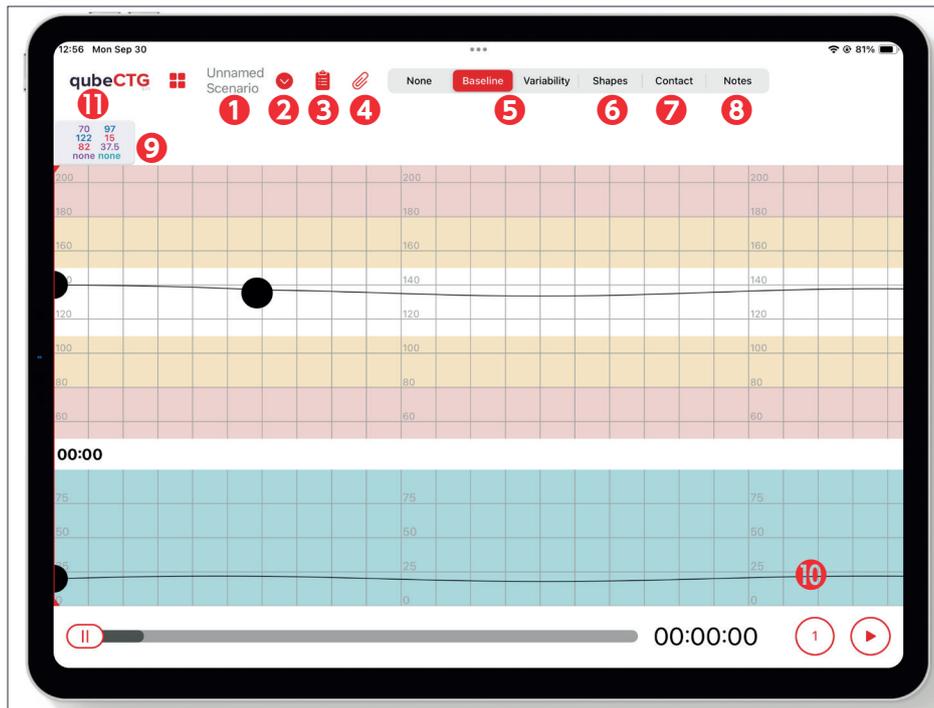
シナリオの削除と複製

1. 「Create Scinalio (シナリオを作成する)」で作成したシナリオの削除／複製は、画面上のシナリオのロングタップで表示されるコマンドから行なうことができます。



4

シナリオの作成と編集

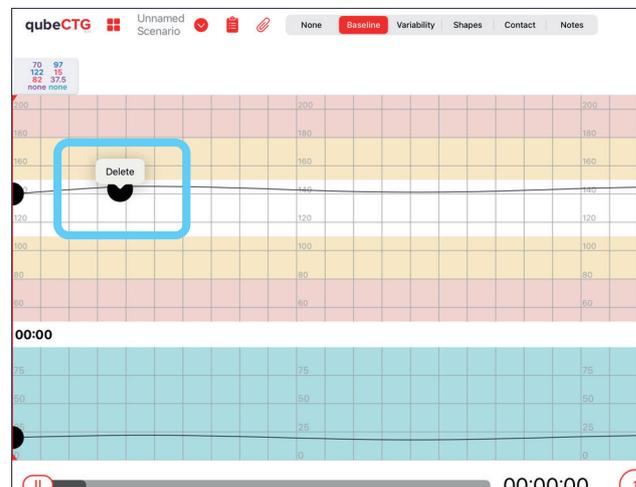
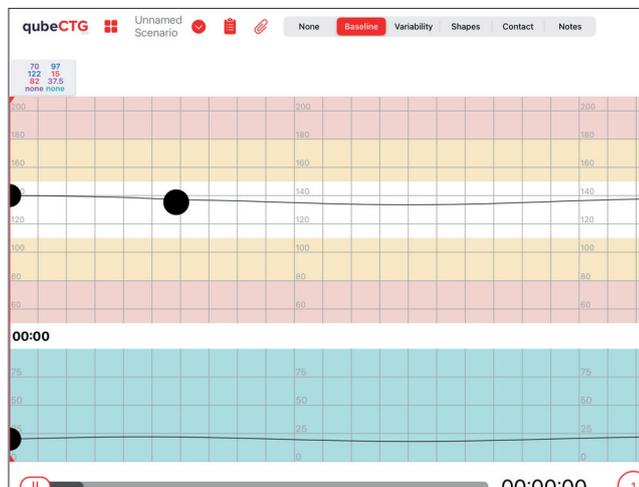


シナリオ編集画面の概要

1. シナリオ名：開いているシナリオの名前が表示されます。
2. 名前の編集：シナリオ名の変更や、シナリオの上書き保存などができます。
3. シナリオ情報：シナリオにブリーフィング情報（要約や患者情報など）を挿入できます。
4. メディア：シナリオに画像や動画などのメディアを添付できます。
5. 基線／細変動：陣痛図や胎児心拍数の基線／変動性を設定できます。
6. 波形：陣痛図と胎児心拍の波形と形状を設定できます。
7. 接触：陣痛図と胎児心拍の信号の中断を設定できます。
8. ノート：フィールドにメモを挿入（モニター側への表示ON/OFF可）できます。
9. 母体パラメータ：母体のバイタルサインを設定できます。
10. シナリオ速度：シナリオの再生速度（1～10倍速）を調整できます。
11. 一般設定：母体心拍表示（ON/OFF）、紙送り速度、温度設定（華氏／摂氏）など基本設定条件の変更ができます。

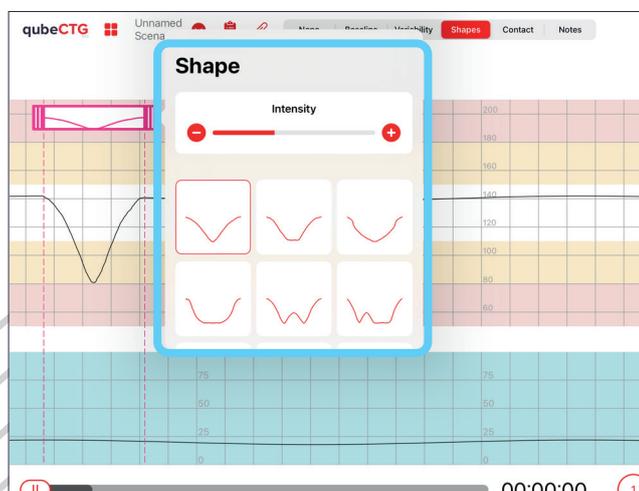
基線と細変動の調整

1. 「基線」 / 「細変動」のアイコンを選択します。
2. ライン上の任意の位置でダブルタップすると、黒い点が現れます。
3. 点を移動させることで、ラインが調整されます。点はロングタップすることで「削除」できます。



波形と接触の調整

1. 「波形」 / 「接触」のアイコンを選択します。
2. 任意の位置でダブルタップするとボックスバーが現れます。
3. ボックスバーの左右の端を動かすことで、長さを調整できます。
4. ボックスバーをタップすると、「波形」では波形選択と強度設定ができます。「接触」では強度設定ができます。
5. ボックスバーをロングタップすると、「削除」や「複製」できます。





SKILLQUBE GmbHは、2013年にドイツのバーデン=ヴュルテンベルク州ヴィースロッフで設立されました。トレーニング、シミュレーション、技術に焦点を当てたSKILLQUBEは「Mission360」を掲げ、臨床および前臨床ケアのシミュレーションとトレーニングのための包括的なソリューションを開発しています。独自のECG患者シミュレーションシステムや音声・ビデオの振り返りシステムを用いて、SKILLQUBEは世界中で前臨床のトレーニングや高度なトレーニングを支援しています。40以上のトレーニング拠点をもち、SKILLQUBEは、ドイツ語圏（DACH地域）におけるアメリカ心臓協会（AHA）の最大の国際トレーニングセンター（ITC）です。AHAの標準化されたコースシステムに加え、SKILLQUBE独自のシミュレーショントレーナーコースも提供しています。

NLS 日本ライトサービス株式会社
Nihon Light Service, Inc.

医学教育機器事業部

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-1

☎ 03-3815-2354 ☎ 03-3818-6843 ✉ igaku@nlsinc.co.jp 🌐 www.medical-sim.jp